

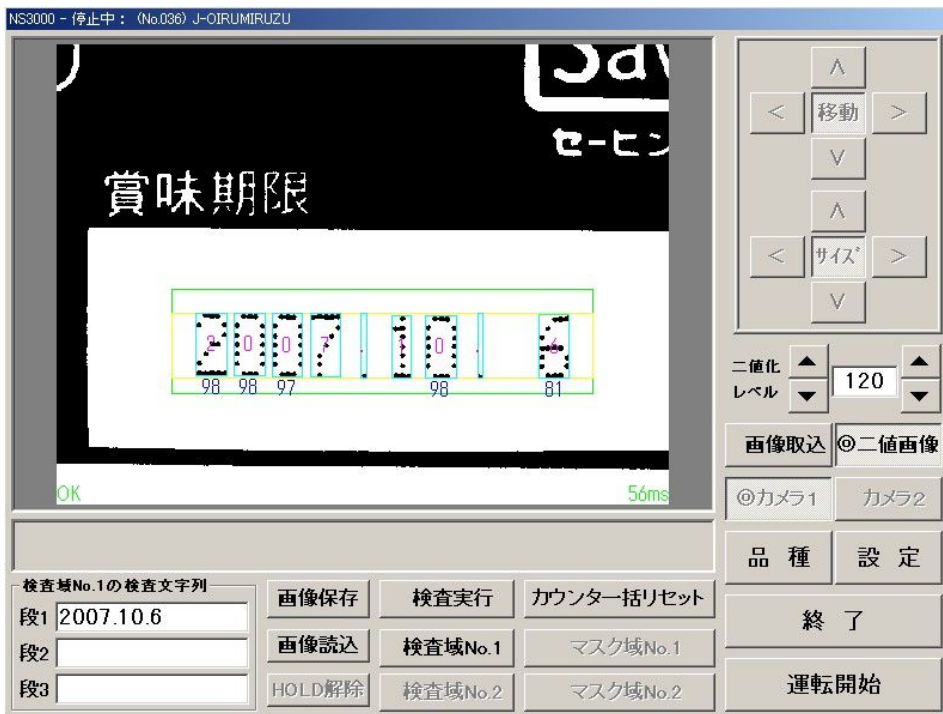
評価者	評価終了日		評価番号
評価アイテム	使用VP		
Sample	NS-3000		

お客様名:	
部署:	様
Tel:	Fax:

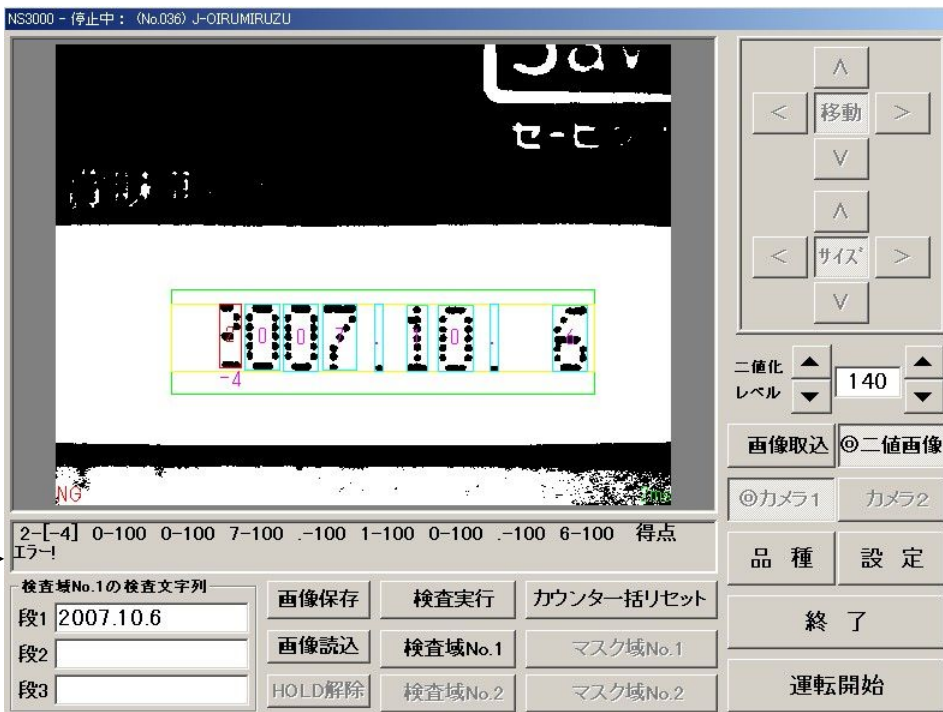
評価サンプル:印字サンプル			
評価内容:IJP文字検査			
評価条件:	視野: 画素サイズ: 解像度:640×480	カメラ:XC-55 カメラ高さ:140mm レンズ:16mm	照明:白色LEDリング 照明高さ:110mm
検査方法: 印字された文字を辞書登録し、ドット印字を検査しました。 OK-NG判定基準を65点。 二値化レベルを5×7ドットサンプルは140、7×9ドットサンプルは120に設定しました。 また、7×9サンプルでは黒膨張機能を使い、ドットを際立たせて検査しました。			
検査結果: 両サンプルともにIJP検査機能による検査は可能でした。 詳細及び画像は別紙参照願います。			

.5×7ドット印字サンプル

お預かりしましたサンプルのうち、良品サンプルより文字登録を行いました。



NG サンプル



一番左の「2」が欠けているため、NGとなります。

この欄に各文字のスコアが表示されます。(100点が満点)

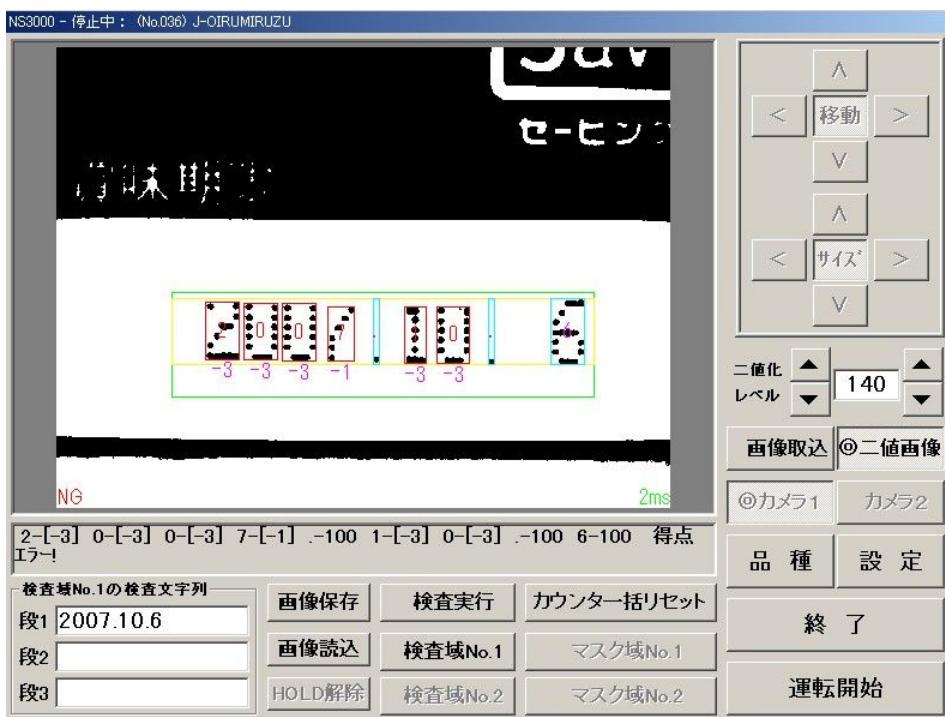
また NG 文字の下にある「-4」というのは、IJP 検査機能での特徴定義で不良としていることを表しています。「-」はマイナスという意味ではなく、4つ目の定義により NG になったということです。

NG サンプル



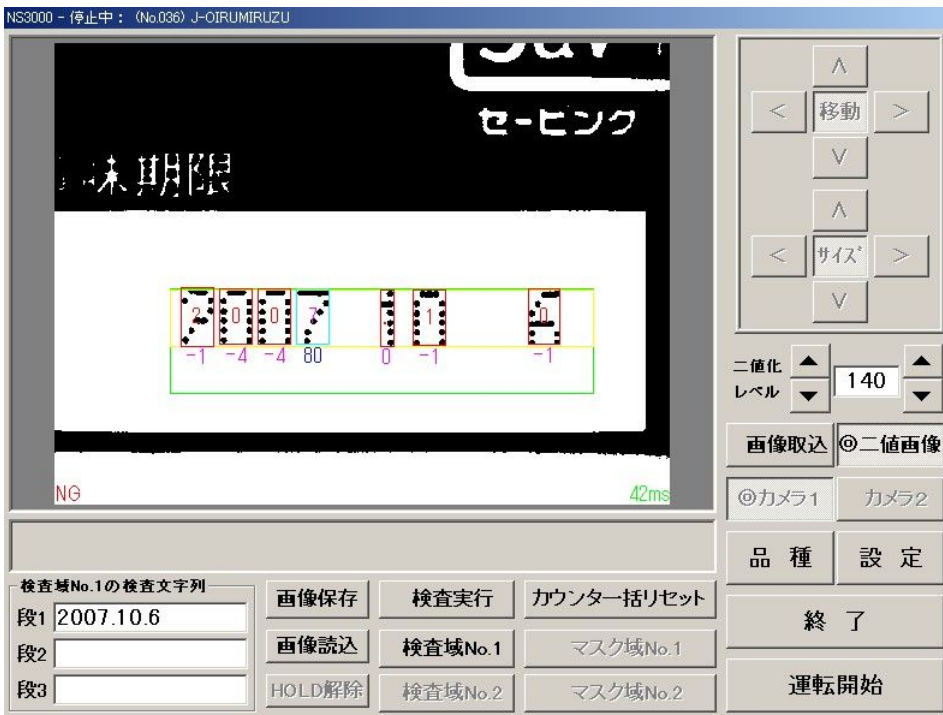
一番右の「6」が欠けている為、NGとなります。

NG サンプル



文字列の上段が1ドット分欠けている為、NGとなります。
ただし、一番左の「6」に関しては欠けがないため、OKとなりました。

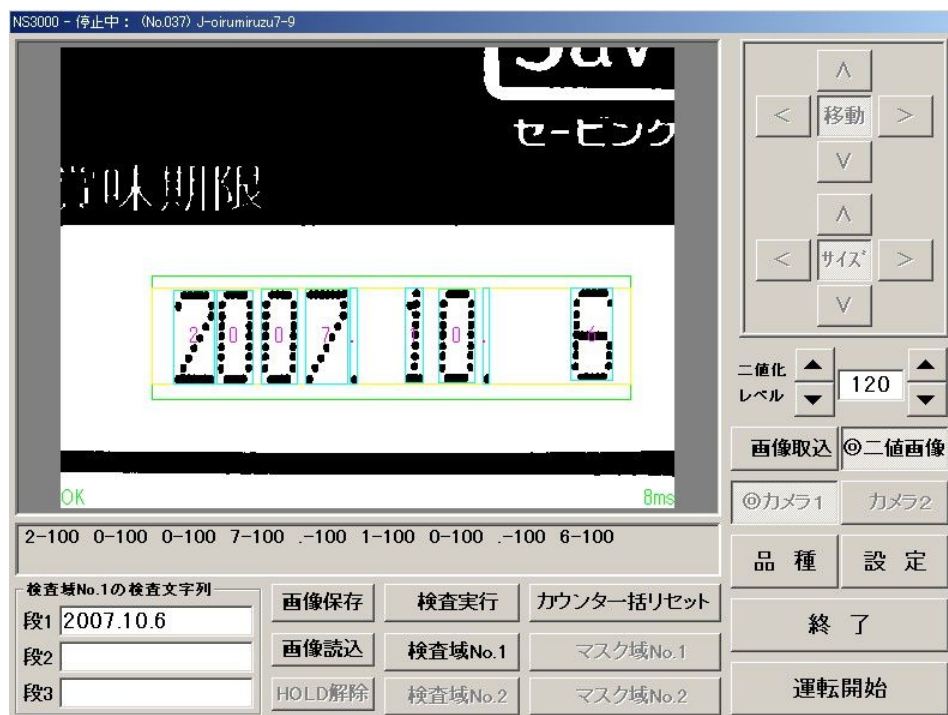
NG サンプル



文字列全体の下段が 1 ドット分欠けている為、NG 判定となりました。
ただし、「7」に関しては欠けてはいるものの、IJP 検査設定での誤差により OK となってしまいました。

.7×9ドット印字サンプル

お預かりしました印字サンプルより、良品サンプルより文字登録しました。

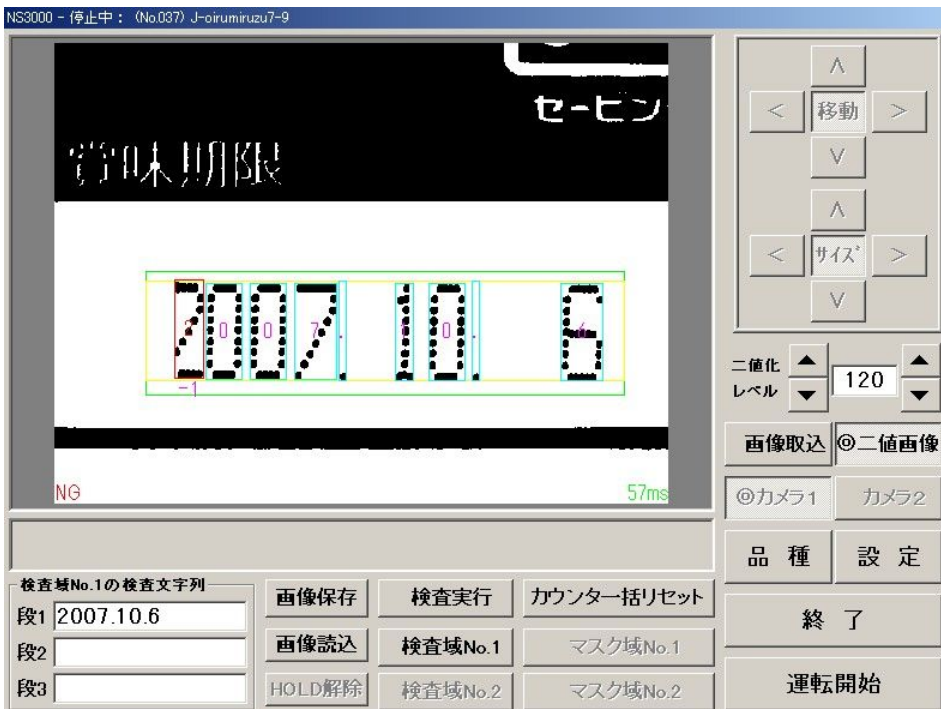


また、今回お預かりした7×9ドット印字におきまして、黒膨張機能を使っております。

これはドット幅が大きく、二値化や照明の調節でもIJP検査基準の幅に満たない場合、この機能によりドットを膨張して表示させ、検査しやすくするというものです。

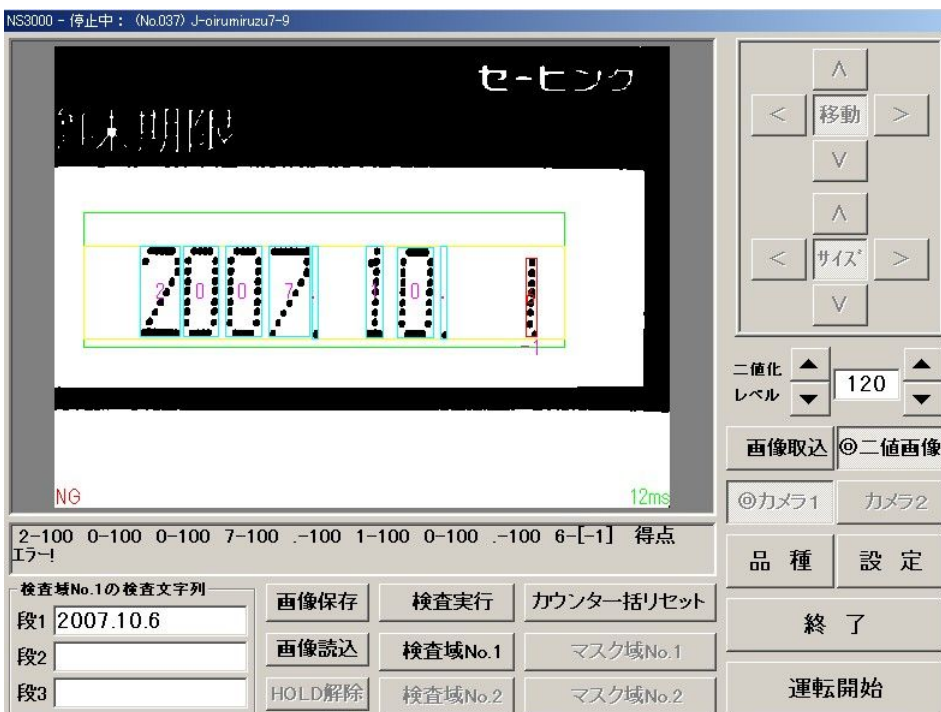
本来ならば文字間の幅はドット間の幅より広くあるのが好ましいのですが、今回のサンプルでは「2」と「0」の文字間の幅が狭く、縦のドット幅の基準を満たす二値化レベルでは「2」と「0」がくっつき一文字と認識される可能性があったため、黒膨張機能によりドットを縦方向に膨張させることによって検査可能としました。

NG サンプル



左端の「2」が欠けている為、NGとなります。

NG サンプル



右端の「6」が欠けている為、NGとなります。

NG サンプル

NS3000 - 停止中: (No.037) J-oirumiruzu7-9

NG 9ms

2-[-2] 0-[-3] 0-[-3] 7-[-1] .-100 1-[-3] 0-[-3] .-100 6-[-3] 得点エラー!

検査域No.1の検査文字列

段1 2007.10.6

段2

段3

画像保存 検査実行 カウンター一括リセット

画像読込 検査域No.1 マスク域No.1

HOLD解除 検査域No.2 マスク域No.2

二値化レベル 120

画像取込 @二値画像

@カメラ1 カメラ2

品 種 設 定

終 了

運転開始

文字列の上段部分が欠けている為、NGとなりました。

NG サンプル

NS3000 - 停止中: (No.037) J-oirumiruzu7-9

NG 8ms

2-[-1] 0-[-4] 0-[-4] 7-[55] .-[0] 1-[-1] 0-[-2] .-[無] 6-[無] 検査文字設定過多エラー! 得点エラー!

検査域No.1の検査文字列

段1 2007.10.6

段2

段3

画像保存 検査実行 カウンター一括リセット

画像読込 検査域No.1 マスク域No.1

HOLD解除 検査域No.2 マスク域No.2

二値化レベル 120

画像取込 @二値画像

@カメラ1 カメラ2

品 種 設 定

終 了

運転開始

文字列の下段部分が欠けている為、NGとなりました。
また、「7」に関しては、特徴の関係上 IJP 検査機能ではなく点数による NG となりました。